



県政報告

第9号 ご意見・ご感想を
2013.7 お寄せください

滋賀県議会 対話の会・しがねっと

〒520-8577 大津市京町4丁目1-1県庁2階 [TEL] 077-528-4057 [FAX] 077-527-1839
[E-mail] info@shiga-net.jp [URL] shiga-net.jp



代表質問に立つ 清水議員

暮らしを支える確実な県政を

6月定例県議会

自民党安倍政権下で行われている「アベノミクス」により、公共事業の前倒し発注等が行われる一方、地方交付税の削減措置が行われる等、滋賀県政にも大きな影響が出ています。

又、原発政策やTPP交渉参加、道州制導入といった国論を一分する重大な問題も、国民不在のまま進行しています。そこで、清水議員が様々な観点から代表質問を行いました。



防災対策と今夏の節電対策について

Q 高浜原発については、原子力安全協定が締結できていないが、今後の対応について伺う。

A 知事 去る4月5日、敦賀原発、美浜原発、大飯原発、もんじゅ、ふげんについて原子力安全協定を締結しました。しかし、高浜原発については、未だ事業者と合意に至っておりず、引き続き、高島市と連携し、協議していきます。

Q ①広域避難と②被ばく医療体制の整備について伺う。

A 知事 去る4月5日、敦賀原発、美浜原発、大飯原発、もんじゅ、ふげんについて原子力安全協定を締結しました。しかし、高浜原発については、未だ事業者と合意に至っておりず、引き続き、高島市と連携し、協議していきます。



▲国の放射能影響予測データ(SPEEDI)の情報を受信し、防災計画に反映



▲オフサイトセンターと滋賀県、高島市、長浜市を結ぶ通信がようやく導入

一道州制について

Q 道州制の具体的イメージが国民に知られず、国民的な議論が展開されないまま道州制が導入されよう

A 知事 県民、NPO、事業者など分野を超えて、琵琶湖の現状や将来について話し合う「びわっこ会議」を開催しています。5月末には、環境保全について話し合う「びわっこ会議」を開催する様々な団体個人が情報を共有で

琵琶湖の保全について

Q 県民参加での琵琶湖やその周りの水辺の保全活動をどのように進めしていくのか伺う。



道州の区域別

他の質問

- ・人口減少社会における滋賀の課題と展望について
- ・アール・ブリュットの振興について
- ・森林政策について
- ・子ども家庭相談センターの拡充について

どんどん更新！



A 知事 全国知事会などと連携して、「国民に対する十分な情報提供と明確な説明」、「地方の意見を十分に聞き、国民合意を得た上で判断すること」などを積極的に求めています。交渉に当たっては、「農業農村がしっかりと守られるよう臨んだいただきた」と、これまで申し上げてきましたところで、今後も機会をとらえて要請

Q TPP交渉に対する知事の考え方と対応について伺う。

A 知事 「國民に対する十分な情報提供と明確な説明」、「地方の意見を十分に聞き、国民合意を得た上で判断すること」などを積極的に求めています。交渉に当たっては、「農業農村がしっかりと守られるよう臨んだいただきた」と、これまで申し上げてきましたところで、今後も機会をとらえて要請

TPP交渉参加が本県の農業に及ぼす影響について

Q 関税が撤廃された場合、本県の農業畜産業に及ぼす影響について伺う。

A 知事 去る3月に公表された政府の試算は、国全体の農林水産物の生産減少額は約3兆円、また、農産物への影響に加えて、「洪水防止」機能や「水源かん養」機能といった多面的機能への影響は、1兆6千億円とされています。国の試算に準じて、本県への影響を試算したところ、生産減少額は、県内農業産出額616億円の4割に相当する249億円であり、多面的機能の喪失額は288億円となっています。

琵琶湖総合保全の取り組み状況を伺う。

A 知事 下水道の整備をはじめ、これまでの対策により、琵琶湖に流入する負荷量は、「昭和40年代前半レベル」に近づいています。水質も、透明度や全窒素・全りん濃度など改善傾向にあり、琵琶湖の富栄養化の進行は抑制されています。国に対しても、制度面や予算面の充実など、様々な角度から提案し、取り組みが進むよう求めています。

きるよう、このフォーラムにインターネット上のサイトを立ち上げました。更に、観光推進ブランド「ビワイチ」なども生かし、一人でも多くの方に琵琶湖の良さを実感し、環境保全活動の輪を広げていけたらと期待しています。

